

350名
限定

SORACHI WINE PICNIC

そらちワイン ピクニック 2017

とき

平成29年9月2日(土)

10:00~15:00 雨天決行

ところ

岩見沢駅東市民広場

岩見沢市有明町南1番地14

質の高いワイン造りにこだわる
ワイナリーやヴィンヤードが集まる空知
爽やかな風に吹かれながら
おいしいワインと食をお楽しみください

同日開催

落花生祭り

【飲食ブース】にて
開催

参加料 4,000円

- ワイン(5アイテム×60cc)
- 会場内の飲食/ワインブースで使用できる600円チケット
- テント席完備

・飲酒できない方にはジュースをご用意しています。

※ 事前にチケットをお買い求めください。・数に限りがございます。予めご了承ください。

今年からは一般来場者も一部(飲食ブース)をご利用できます。

※テント等のご利用できません。※ワインブースに関しましては、チケット購入者のみの対象となります。

SORACHI WINE PICNIC

SORACHI
WINE
PICNIC

【チケット販売所】

- 岩見沢観光物産拠点センターイワホ TEL 0126-35-4136/○ e+イープラス[PC/携帯]http://eplus.jp[直接購入]ファミリーマート/○ 宝水ワイナリー TEL 0126-20-1810/
- マオワイナリー TEL 0123-88-3704/○ 鶴沼ワイナリー TEL 0125-68-2646/○ グランヴァンセラール TEL 011-531-7777

【主催】そらちワインピクニック実行委員会 【協賛】一般社団法人空知建設業協会、空知信用金庫、岩見沢建設協会、岩見沢商工会議所、(株)北洋銀行、(株)北海道銀行、一般社団法人岩見沢市観光協会
【後援】北海道空知総合振興局、岩見沢市、三笠市、長沼町、浦臼町、深川市、北海道旅客鉄道(株) 【制作】岩見沢観光物産拠点センターイワホ

【総合お問い合わせ】 ワインピクニック事務局(〒068-0024 岩見沢市4条西2丁目8-5 ナカノタナ i-stage内) t.0126-35-7128/f.0126-35-7129

SORACHI WINE PICNIC

そらちワイン ピクニック 2017

1



鶴沼ワイナリー (浦臼町)

名実ともに北海道のワイン造りを支えてきた北海道ワイン(株)の自社農場。醸造用ぶどう畑としては日本一の広さ、まるで海外のワイン産地を思わせます。

提供ワイン 2015 鶴沼ゲヴェルツトラミネール(白)

○グラス販売: 2015 鶴沼ピノ・ブラン(白)ほか



2



TAKIZAWAワイナリー (三笠市)

2004年、三笠市達布地区の畑を2年かけて開墾、自然の力を活かしたワイン造りを行っています。2013年秋、待望のワイナリーがオープンしました。

提供ワイン ケルナー2016(白)

○グラス販売: キャンベルアーリー 2016(ロゼ)ほか



3

KONDOヴィンヤード (三笠市・岩見沢市)

2007年に三笠市、2011年に岩見沢市栗沢町に畑を開墾。2017年秋、ナカザワインヤードとともにワイナリー(栗澤ワインズ)を設立予定。

○グラス販売: konkon 2015

5



宝水ワイナリー (岩見沢市)

岩見沢は、2メートルを超える豪雪地帯で、ワインラベルのモチーフは、雪の結晶。ぶどうに現れる土地の個性を生かしたワイン造りを進めています。

提供ワイン RICCA雪の系譜ケルナー2016(白)

○グラス販売: RICCA 雪の系譜シャルドネ 2016(白)ほか

ワインブース 出展者



4



山崎ワイナリー (三笠市)

北海道三笠市達布にて4代続く農家が2002年に始めたワイナリー。自社葡萄のみを使用するドメスワイナリーです。

提供ワイン メルロ2015(赤)

○グラス販売: ピノグリ 2016(白)ほか



7

ナカザワインヤード (岩見沢市)

2002年、新規就農者としてぶどう栽培を本格的に開始。農業を控え、できるだけ自然に任せた栽培を行っています。

○グラス販売: クリサワブラン 2016(白)

8



マオイワイナリー (長沼町)

2006年設立されたマオイの丘の小さなワイナリー。山ソービニオン(カベルネソービニオンと山ぶどうの交配)を主体としてワイン造りを進めています。

提供ワイン 山ブドウ(赤)

○グラス販売: 山ソービニオン(赤)ほか

6

10Rワイナリー (岩見沢市)

国内では珍しいカスタムクラッシュワイナリー(受託醸造所)。志を持ったブドウ生産者とともに、高品質で個性豊かなワイン造りを目指しています。

○グラス販売: 上幌ワイン風(赤) or

上幌ワイン森(白)(どちらか一種のみ販売予定)

9

宮本ヴィンヤード (三笠市)

理想のワイン造りを求め、10年の歳月を掛けて三笠市に辿り着きました。透明感のあるテロワールのワインを目指しています。

10

イレンカ・ヴィンヤード (岩見沢市)

2012年に栗沢町上幌地区にてスタート。ピノワールという品種の魅力と空知のテロワールを生かしたワイン造りを目指しています。

飲食ブース出展者

一般来場者
購入可能

- 市川薫製屋本舗 with ちょびりこ。ジャム研究所(岩見沢市)【薫製、ぶどうジュースなど】
- モンパリ(岩見沢市)【ハンバーガー、パン各種】
- CAFE STOVEN + 西川農場(美瑛市)【アスパラ羊のトリッパ、ソーセージなど】
- プティラバン(滝川市)【お肉料理など】
- 南幌ことぶきや(南幌町)【海鮮料理など】
- ゴルトよしだ(新十津川町)【ソーセージなど】
- 空ふわ号(空知経営研究会「葉月会」)【サンドイッチ】
- 豊正FAM協議会(共催:北の大地マルシェ&菜宝箱)(岩見沢市)【ゆで落花生、畑直送の新鮮野菜など】
- 深川シールド(深川市)【シールド】
- 岩見沢観光物産拠点センター イワホ(岩見沢市)【※ワイン、おつまみなど】

※当日メニュー変更になる場合がございます。
※ワインブースとは違う種類のワイン数種類となります。数に限りがございます。

同日開催
落花生祭り
【飲食ブース】にて
開催

SORACHI WINE PICNIC

お得情報

観光タクシーで巡る『そらちワイン&フード モニターツアー』

※ 詳細は、岩見沢市観光協会ホームページ参照

① 4時間貸切コース

小型1台あたり
¥6,000(税込)

条件: 岩見沢発着4時間の貸切タクシー1台あたりの料金です。(参考:通常は、4時間貸切料金22,240円です。)

※ 予約先:日の出交通(株) TEL 0126-22-2773

② 6時間貸切コース

小型1台あたり
¥10,000(税込)

条件: 岩見沢発着6時間の貸切タクシー1台あたりの料金です。(参考:通常は、6時間貸切料金33,360円です。)

※ 予約先:日の出交通(株) TEL 0126-22-2773

モニターツアーの問合せ先:岩見沢市観光協会 TEL 0126-22-3470(担当:大川)



Time Schedule

- 10:00~おいしい空知産ワインとワインに合う食などをお楽しみください
- 10:30 ソムリエ池田卓矢さんによるワインセミナー ①
- 11:30 ミニコンサート(Notes of North)
- 12:30 食ブース宣伝
- 13:00 ソムリエ池田卓矢さんによるワインセミナー ②
- 14:00 ミニコンサート(Notes of North)
- 15:00 終了

・会場内への飲食物の持ち込み、喫煙、ペットの同伴はご遠慮願います。
・出展者及び提供・販売ワインは予告なく変更となる場合があります。

今年からは一般来場者も一部(飲食ブース)をご利用できます。

※ テント等はご利用できません。
※ ワインブースに関しては、チケット購入者のみの対象となります。



Notes of North

坂田 佳央理、下野 賢臣、三好 淑

2013年、教育機関による芸術鑑賞会での演奏グループとして結成。メンバー全員が希少な氏名の為「Rare names quartet」として活動を開始。アイリッシュ音楽中心に演奏し、オリジナル曲の制作にも力を入れている。サッポロ・シティジャズ2016~パークジャズライブコンテストファイナリスト。サッポロファクトリー×SCJ SAPPORO CITY JAZZ WEEK、SAPPORO SOUND SQUARE 2016、Rusutsu 100days Music Night に出演。2016年7月、11月、12月には札幌と岩見沢にてワンマンライブを開催。2017年1月21日に Rare names quartet ミニアルバム「DEPARTURE」を発売し、2月に CD 発売記念ライブを行った。2017年からは「Notes of North」と改名。様々な場所で精力的に演奏活動を行っているメンバーが、ずっと挑戦したかったアイリッシュバンド...少しずつ実績を積み重ね、これから更に活動の場を広げ新たな展開をおこなうとしている。



IKEDA Takuya

ソムリエ 池田 卓矢

旭川出身。(社)日本ソムリエ協会認定ソムリエ、池田町ブドウ酒研究所十勝ワインバイザー、空知ワイナリー・ヴィンヤード連絡会議構成員、北海道らしい食づくり名人・伝承名人、札幌市青少年科学館天文指導員。主な経歴として、2014年よりさっぽろライラックまつり7丁目会場ワイン担当、2008年洞爺湖サミット胆振情報館:北海道のワインとチーズブース担当。現在は、道新文化センターワインセミナー講師、道内のワイナリーツアーガイドや札幌市・空知管内でのワイン会の開催など、道産ワインの普及のため多方面で活躍中。